から，イノベーションの創出を支えるプログラムや，就職や円滑な転職等につながるような実践的なプログラムを教育機関と産業界等との協働により開発することを通じて，大学・大学院・専門学校等における社会人の受入れ等を推進する。また，社会人の大学等での学習については，時間的・経済的制約が課題となっている状況を踏まえ，企業等の理解の促進や奨学金制度の弾力的運用を含め，環境整備を行う。さらに，時間的・空間的制約がなく学ぶことが可能な放送大学をはじめとした通信教育を行う大学における科目の充実等を一層進める。

２．未来への飛躍を実現する人材の養成

成果目標５（社会全体の変化や新たな価値を主導・創造する人材等の養成）

「社会を生き抜く力」に加えて，卓越した能力※を備え，社会全体の変化や新たな価値を主導・創造するような人材，社会の各分野を牽引（けんいん）するリーダー，グローバル社会にあって様々な人々と協働できる人材，とりわけ国際交渉など国際舞台で先導的に活躍できる人材を養成する。

これに向けて，実践的な英語力をはじめとする語学力の向上，海外留学者数の飛躍的な増加，世界水準の教育研究拠点の倍増などを目指す。

（※能力の例：国際交渉できる豊かな語学力・コミュニケーション能力や主体性，チャレンジ精神，異文化理解，日本人としてのアイデンティティ，創造性など）

【成果指標】
＜新たな価値を創造する人材関係＞
①国際的な学力調査の平均得点を調査国中トップレベルにする。
　あわせて，習熟度レベルの上位層の増加（成果目標１の再掲）
②難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している児童生徒の割合の増加
③国際科学技術コンテストへの参加者の増加
④社会を牽引（けんいん）するリーダーを養成するための専門分野を超えた教育プログラム実施数の増加
⑤世界で戦える「リサーチ・ユニバーシティ」を１０年後に倍増
⑥大学の国際的な評価の向上（研究面や教育面，国際面等で国際的に高い評価を受ける大学の増加）

【成果指標】
＜グローバル人材関係＞
①国際共通語としての英語力の向上
・学習指導要領に基づき達成される英語力の目標（中学校卒業段階：英検３級程度以上，高等学校卒業段階：英検準２級程度～２級程度以上）を達成した中高校生の割合５０％
・卒業時の英語力の到達目標（例：ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ８０点）を設定する大学の数及びそれを満たす学生の増加，卒業時における単位取得を伴う海外留学経験者数を設定する大学の増加
②英語教員に求められる英語力の目標（英検準１級，ＴＯＥＦＬ　ｉＢＴ８０点，ＴＯＥＩＣ７３０点程度以上）を達成した英語教員の割合（中学校：５０％，高等学校：７５％）
③日本の生徒・学生等の海外留学者数，外国人留学生数の増加（２０２０年を目途に日本人の海外留学生数を倍増など）
④大学における外国人教員等（国外の大学での学位取得，通算１年以上国外で教育研究に従事した日本人教員を含む）の全教員に占める比率の増加
⑤大学における外国語による授業の実施率（外国語による授業／全授業数）の増加
⑥大学の入学時期の弾力化状況の改善（４月以外で入学した学生数の増加）